

<今日の説教のポイント ルカによる福音書4章14～22節>  
悪魔の誘惑を退けられたイエス様は、いよいよ伝道を開始されます。

①「霊の力に満ちて」(14)で考えるべきことは？ 信仰に立つ!

「イエスは霊の力に満ちてガリラヤに帰られた」(14)。「霊の力に満ちて」でどんなことを考えますか？ これで不思議な奇跡を起こせる？確かにイエス様は奇跡を起こされましたが、ここでは違うと思います。イエス様は荒野で悪魔から「神の子なら奇跡を起こせるだろう」(3,9)と誘惑されたのに、奇跡を起こさないで(!)悪魔を退散させられたからです(12-13)。「霊の力に満ちて」で思い浮かべるべきは、むしろ、「何があっても、神様を信じれば大丈夫なのだ」と確信している姿を指すのではないのでしょうか。これなら私たちにも可能なことです!

②ルカは、イエス様の「奇跡」ではなく「教え」に注目している!

奇跡を起こすことではなく、神様への信頼をもって伝道を開始されたイエス様。その様子を記すルカの特徴はイエス様の教えに注目していることです。「イエス様は諸会堂で教え、皆から尊敬を受けた」(15)、「皆はイエスをほめ、その口から出る恵み深い言葉に驚いて」(21)。

③このイエス様の到来と共に「主の恵みの年」(19)が開始した!

そのイエス様がイザヤ書に記された「主の僕による救いの到来」の預言の箇所を読み、「この聖書の言葉は、今日、あなたがたが耳にしたとき、実現した」(21)、と教えられたのです。つまり、「捕らわれ人が解放され、目の見えない人が見えるようになり、圧迫されている人が自由にされていく」(18-19)ことが、主から遣わされた私によって、今(今日)、始まり出したのだ、と告げられたのです! これは後にも先にもない、イエス様によってなされた神様の特別な救いの出来事の開始を指しています(「主の恵みの年」(19)の開始)。まさに信じられない不思議な出来事なのです。では、どうしたら信じられるのでしょうか? イエス様は多くの奇跡を起こして病を癒されました。しかし、奇跡で病が治ることが凄いのではありません。病が治っても人はいずれ死にます。その死を打ち破られたイエス様が凄いのです! この恵みの凄さが分かる道が神様から与えられているのです。聖書の御言葉に聞く道です!